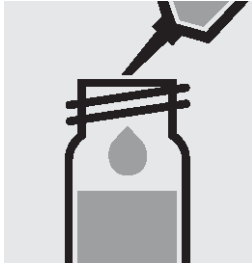


00885 ・ ナトリウム(チオシアン酸鉄法)

測定範囲: 10~300mg/l Na



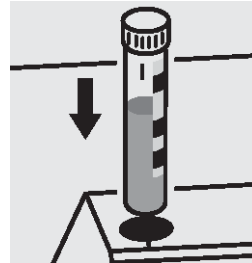
1. ピペットで0.50mlの試薬 Na-1Kを反応セルに取って攪拌します。



2. ピペットで0.50 mlの試料を加え、ねじぶたでセルを閉じて攪拌します。



3. 反応時間:1分間



4. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。セルのマークを光度計のマークに合わせます。

品質保証:

測定システム(試薬、測定装置、および取り扱い)の点検のため、使用準備が完了した塩化物標準液(CAT 番号 250466、濃度 1000mg/l Cl⁻) (649mg/l Na に相当)を適宜希釈して使用できます。液体肥料中

1. 測定原理

ナトリウムイオンと当量の塩化物イオンは、チオシアン酸水銀(Ⅱ)と反応してわずかに解離した塩化水銀(Ⅱ)を形成します。その際に遊離したチオシアン酸は鉄(Ⅲ)イオンと反応して赤色のチオシアン酸鉄(Ⅲ)を形成し、これを光学的に測定します。

2. アプリケーション

サンプル:
液体肥料

3. 妨害物質の影響

液体肥料に通常存在するその他物質の濃度は、測定結果に影響しません。

4. 試薬の保存条件

パッケージに記載された注意書きをよくお読みください。
キットに含まれる試薬類は密閉状態で、以下の条件で保存された場合、容器に記載された有効期限まで安定してご使用頂けます。
保管温度: +15~+25 °C

5. 使用する試薬・器具

試薬(測定回数 25 回) 品番 M1008850001
内訳) 試薬 Na-1K
反応用丸セル(25 本) 品番 M1147240001

6. 精度管理

測定結果は測定器、操作法の精度管理がなされていることを前提にして、正式に認められるものです(DWA A 704)。
光度測定系(試薬、測定器、操作法)および作業条件の確認には、希釈して調製した 154 mg/L 塩化物標準液(100 mg/L Na に相当)を利用することも可能です(巻末の「標準液の調製方法」を参照)。
また、サンプル由来の影響(サンプル中のマトリックスの影響)は濃度既知の標準液を添加し測定を行うことで判定出来ます(回収率による判定)。

データ

製品の品質管理は、ISO 8466-1 および DIN 38402 A51 に準拠して、下記のようにコントロールされています。

標準偏差(mg/L Na)	± 3.8
CV(変動係数)(%)	± 2.6
信頼区間(mg/L Na)	± 9
ロット数	8
感度(0.010 A に相当する mg/L Na)	3
測定精度(mg/L Na)	最大 ± 12

7. ご注意

- 未使用の試薬あるいは測定後の溶液の廃棄につきましては、各都道府県・地域の条例に従って行ってください。
廃水はそのまま流さないでください。
- 試薬ピンは、ご使用後直ちに蓋をしてください。
- 幼児の手の届かないところおよび食品から離れたところに保管してください。
- 肌や目に試薬が触れた場合には、直ちに流水で試薬を良く洗い流した後、医療機関に指示を仰いでください。